

# TECHNICAL DATA

種類	水系剥離剤専用クリーナー
製品名	キクスイ アクアリウムバーエコ専用クリーナー

第2版 作成日：2023年 4月 1日



菊水化学工業株式会社

# 施工仕様書

種類：水系剥離剤専用クリーナー

製品名：キクスイ アクアリムバーエコ専用クリーナー

用途：キクスイ アクアリムバーエコ使用後の対象鋼構造物の清掃及び器具の洗浄

## 1. 工程表

### 施工

工程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	放置時間 (hr)	塗付量
前処理	旧塗膜に付着している水分、汚れを除去する。 剥離対象以外の箇所には、ポリエチレンフィルム・粘着テープ等を用いて被覆養生する。 剥離箇所周辺は、剥離剤が飛散するのを防止するため、シート養生を行う。				
塗付	キクスイ アクアリムバーエコ 主材：16kg 無希釈	エアレススプレー、 ウールローラー、はけ 等			テスト施工の結果をもとに、 塗付量、放置時間、塗回数を 決定する。
軟化養生	-	-			
除去	-	スクレーパー等 剥離器具・工具			
廃塗膜処理	剥離した塗膜は、塗膜中に含まれる有害物質の種類、量に応じて適切に廃棄する。				
洗浄	キクスイ アクアリムバーエコ専用 クリーナー 主材：15kg 無希釈	ウエスなど 剥離後別途ブラスト、 動力工具による 素地調整を行う場合は 不要			
素地調整	-	電動工具など			当事者間の協議による
再塗装	剥離面へのごみが付着、さびなどが発生する前に再塗装を開始する。				

## 2. 材料荷姿

剥離剤：キクスイ アクアリムバーエコ

NET：16kg/缶

クリーナー：キクスイ アクアリムバーエコ専用クリーナー

NET：15kg/缶

### 3. 施工要領

#### 3-1. 剥離後の対象鋼構造物の洗浄

キクスイアクアリムバーエコが残った状態で塗装を行なうと膨れなどの不具合や密着不良のおそれがあります。旧塗膜を除去した後、キクスイアクアリムバーエコ専用クリーナーを染み込ませたウエスなど用いて、下地のぬめりが無くなるまで十分に拭き取ってください。

#### 3-2. 器具の洗浄

エアレス塗装機は下記の手順で洗浄を行ってください。

- 1：吸引ホースまたはホッパーに残っているアクアリムバーエコを除去してください。
- 2：吸引ホースをキクスイアクアリムバーエコ専用クリーナーが入った容器へ入れるもしくはホッパーにキクスイアクアリムバーエコ専用クリーナーを入れて、塗装機本体からアクアリムバーエコを全て吐出させてください。  
その後、塗装機本体をキクスイアクアリムバーエコ専用クリーナーで循環させ、洗浄してください。
- 3：塗装機本体と同様にキクスイアクアリムバーエコ専用クリーナーにて、機器を運転しメインのホース及びガン内のアクアリムバーエコを全て吐出させた後、循環させて洗浄してください。

# 成分表

キクスイ アクアリムバーエコ専用クリーナー

内 容	重 量 (%)
水	50~60
アルコール	40~50
計	100

# 性能試験成績書

種類	水系剥離剤専用クリーナー		
製品名	キクスイ アクアリムーバーエコ専用クリーナー		
供試材料	キクスイ アクアリムーバーエコ専用クリーナー		
試験方法	土木鋼構造物用塗膜剥離剤ガイドライン（案）改訂第2版 塗膜剥離剤の品質		
性能	項目	基準値	結果
安全性	火災安全性	引火点が93℃より大きいこと	合格 引火点無し (クリーブランド開放式)
—以下余白—			

\* 上記数値は代表値であり、製品の数値等を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。

# 一般的な注意事項

## 《環境》

- 施工場所の気温が5℃以下、湿度85%以上又は結露の発生が考えられる場合、外部の施工で降雨、降雪のおそれ、または強風のおそれがある場合は施工を行わないでください。
- 施工時は換気を十分に行ってください。

## 《施工》

- ゴム・プラスチック類を軟化・膨潤させるため、剥離対象以外の箇所は養生してください。
- 施工面周辺（車や付帯設備を含む）や床などに汚染や損傷を与えないように、あらかじめ施工箇所周辺に適切な養生を行ってください。
- 施工途中で降雨等が予想される場合は、シート養生を行うなどして、剥離剤に水分が当たらないようにしてください。
- 必ず使用前に既存塗膜の種類、膜厚、劣化状況などの事前調査を行い、剥離剤との適性を確認し、塗付量、塗回数、塗付後の放置時間などを確認、決定してください。
- 材料は希釈せず使用してください。
- テスト施工で決定した塗付量及び放置時間を守って施工してください。
- 材料を取扱う場合には、特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。

## 《保管》

- 直射日光下や屋外、0℃以下での保管はしないでください。
- 開缶時は確実に密栓し保管してください。
- 容器を転倒させる、落下させる、衝撃を与えるなど粗暴な取扱いはしないでください。
- 材料を保管する場合は、特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。

## 安全衛生上の注意事項

- 製品の取扱いについての一般的な注意事項の詳細はSDS(安全データシート：旧MSDS)を参照してください。
- 適切な保護具（化学防護服、保護手袋、保護眼鏡）、防毒・防塵マスクなどを着用してください。
- 目に入った時は直ぐに水で洗い、速やかに医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は速やかに医師の診断を受けてください。
- 皮膚についた場合は、多量の水と石鹸で洗ってください。また、皮膚刺激または発疹が生じた場合は、診断を受けてください。
- 粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 取扱い後は手洗い、うがいを十分に行なってください。
- 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。
- 合成樹脂などの電気絶縁性の床で材料の保管や取扱いをしないでください。また、導電靴や帯電防止の服を着用してください。

- 開封後、やむを得ず保管する場合は密栓して冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 保管場所、取扱い場所とその周辺には、塗装中、放置中、剥離中共に、熱、火花、高温体のような発火源を遠ざけ火気厳禁としてください。特に塗装後の放置過程では蒸発面積が広がるため、引火性の高い蒸気が発生する恐れがあります。注意してください。
- 火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
- 缶の取手は手さげ専用です。ロープやフックで吊り下げると外れることがあります危険です。絶対に行わないでください。
- 子供の手の届かない所に保管してください。
- 素地及び塗装器具を洗浄した汚水はそのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処理してください。

\* 本仕様書の内容は予告なしに変更することがあります。

施工に当たっては常に最新版の仕様書を参照し、適切な対策を取るようにしてください。